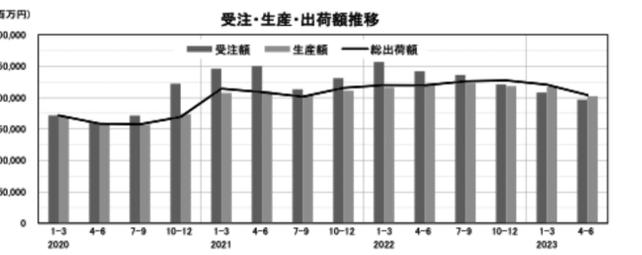


JARA「2023年4～6月期ロボット統計」



日本ロボット工業会(JARA)が発表した「2023年4～6月期ロボット統計」によると、2023年4～6月期の受注額は前年同期比18.7%増、生産額は8.8%増、出荷額は10.7%増となった。受注額は109.7億円(18.7%増)、生産額は109.7億円(8.8%増)、出荷額は109.7億円(10.7%増)となった。出荷額は前年同期比10.7%増となった。出荷額は前年同期比10.7%増となった。出荷額は前年同期比10.7%増となった。

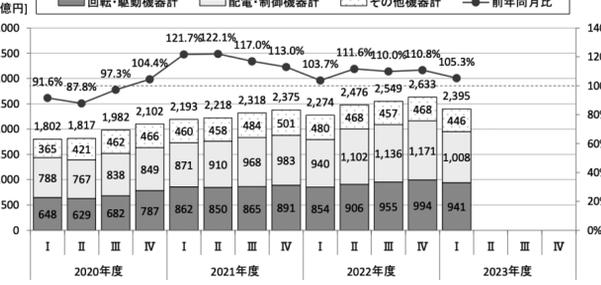
受注 生産 出荷

いずれも前年割れ

成長の踊り場差し掛かる

「産業オープンネット展」が7月19日(名古屋)と20日(東京)の2会場で開催された。2会場合わせて1400人が来場した。今年も同目となる同展は、20年、21年の2年間は新型コロナウイルス感染症への対応からオンラインネット上で開催し、22年は東京会場での開催となった。

産業用汎用電気機器の出荷実績



日本電機工業会(JEMA)が発表した産業用汎用電気機器の出荷実績によると、2023年度第1四半期(Q1)の出荷額は前年同期比3.3%増の2,005億円となり、2010年度以降の1Qでは最高額となり、F A市場は好調を継続している。

国内好調 2395億円

過去10年で同期最高額

「産業オープンネット展」が7月19日(名古屋)と20日(東京)の2会場で開催された。2会場合わせて1400人が来場した。今年も同目となる同展は、20年、21年の2年間は新型コロナウイルス感染症への対応からオンラインネット上で開催し、22年は東京会場での開催となった。

オムロン 売上高2033億円

SSB好調 増収増益

オムロンは、2023年3月期(第1四半期)決算を発表し、売上高は前年比10.3%増の2,033億円(売上高)となった。営業利益は19.0%増の143億4,000万円、純利益は68.0%増の13億3,000万円増となった。

三菱電機 「未来のものづくり」

世界へ向け広報展開

三菱電機は、2022年11月に発表した「FA事業のグローバル展開」を推進し、世界へ向け広報展開を推進している。

産業オープンネット展 盛況

2会場合わせ1400人来場

「産業オープンネット展」が7月19日(名古屋)と20日(東京)の2会場で開催された。2会場合わせて1400人が来場した。今年も同目となる同展は、20年、21年の2年間は新型コロナウイルス感染症への対応からオンラインネット上で開催し、22年は東京会場での開催となった。

サンワテクノスも好業績

営業利益 前年比26%増

サンワテクノスは、2023年3月期(第1四半期)決算を発表し、売上高は前年比8.1%増の4億9,000万円、営業利益は26.2%増の1億6,000万円、純利益は21.9%増の1億2,000万円増となった。



東京会場のにぎわう展示コーナー(左)とセミナー会場(右)

「産業オープンネット展」が7月19日(名古屋)と20日(東京)の2会場で開催された。2会場合わせて1400人が来場した。今年も同目となる同展は、20年、21年の2年間は新型コロナウイルス感染症への対応からオンラインネット上で開催し、22年は東京会場での開催となった。

azbil
あすみる、アズビル。
オートメーションで未来を描く
アズビル株式会社

モノ売りオンリーからモノ売り+コト売りへの進化 現場力・ノウハウを商品化せよ

灯台

先日、2年前の制御盤「X」で、お世話になったお客様の制御盤メーカー・東洋電機製作所にお邪魔しました。同社は月産1,200台の制御盤メーカーで、数年前からデジタル技術を取り入れて制御盤の設計製造の効率化を進めているが、それがさらに進化してきている。通常の制御盤メーカーは顧客の求めに応じて制御盤を製造して納めることで収入を得る。「モノ」を作って売る。いわばものづくりの王道ビジネス。しかし同社は最近、新たな案件で挑戦を始めている。何をしたいかという。ある機械メーカーのDX戦略の一環として進めている製品の設計製造プロセスのデジタル変革に共創パートナーのような形を企画し、制御盤に関する部分の新たな開発検証を一括して取り組む。同社のデジタル化の取り組みを機械メーカーが耳にし、そこから声がかかった。がきっかけで、制御盤を作ったことがないメーカーが、自分たちの技術やノウハウが商品として受注にいたった。これはまさに「モノ」売りから「コト」売りへ、制御盤メーカーの「サレ化」。この挑戦はまだ始まったばかりで、先のことからは「モノ」売りの制御盤メーカーにもう一つ「コト」売りという新たなビジネスモデルがある。DXやGXを推進しなくてはならない時代、いま製造業各社が求めている、欲しかったらないのは、工場や工程にまつわるノウハウだ。そのノウハウは世にあってはいるが、それを売っていただけでは歩留まり改善もリードタイムの短縮も脱炭素も果たせない。そこにノウハウや有効な知識と技術が組み合わさって初めて効果が出るのだ。それを売っているのは、自ら工場や工程を構築・改善し、効果を出した人や企業。周りから見れば、それは貴重で有益な知的財産であり、まさに「現場力」。モノ売りから「コト」売りへ。簡単なことではないが、制御盤メーカーをはじめ、メーカーに属する企業はいずれもその素質を持っている。ぜひチャレンジする企業がもっと増えよう。

Electronics Solutions Company
KANADEN
株式会社 カナデン

縦横取付け可能! コネクタ端子台 VSFシリーズ

縦横兼用 スリム39mm幅 消えないマーキング 使用周囲温度65°C Push-in 端子台

超小型コネクタ端子台 2 WAY FIT COMPLETE line

縦横兼用コネクタ端子台 選べる! 使える! 必ずもらえる! "PLCコネクタ端子台 & VARIOケーブル" セット プレゼントキャンペーンスタート!

PHOENIX CONTACT 100 years of passion for technology and innovation 35th ANNIVERSARY 弊社は2023年にドイツ本社創設100周年・日本法人設立35周年を迎えました

オートメーション新聞WEB URL付き記事はこちらから→<https://www.automation-news.jp/category/topics/>

FA業界掲示板

■三菱電機、FAマガジン最新号をWEBで公開

三菱電機は、同社のグローバルでのFAの取り組みを冊子形式で紹介する「FAマガジン」について、最新号をWEBで公開している。

最新号では、「オートメーション技術でお客さまの変革を支え、より豊かな社会の実現に貢献していく」という想いを込めた新しいスローガン「Automating The World」について特集し、世界各国のさまざまなケーススタディを交えて解説している。



■三菱電機、NC制御装置3DシミュレータNC

「Virtual Simulator」60日間試用版を無料配布
三菱電機は、NC制御(数値制御)装置3Dシミュレータ「NC Virtual Simulator」の60日間試用版を無償配布している。

同製品は、マシニングセンタ等での精密加工について、加工プログラムの検証や作業指示データの確認、ナノサイズの傷分析などをPC上でシミュレーションできる3D加工シミュレータ。加工シミュレーションに特化したことで低コストで導入でき、リアルに近いシミュレーションが可能となっている。

■三菱電機、高精度・短納期の金型・部品製造事例をダウンロードで提供

三菱電機は、EVやスマートフォンなどの先端産業分野で使われている放電加工機について、高精度・短納期の金型と部品製造を実現した事例をダウンロードで提供している。事例はEV向け、スマートフォン向け、ユーザー導入事例の3種類をそろえている。



■オムロンと早稲田大学、工場エネルギー管理システム基盤構築を共同研究

オムロンと早稲田大学は、製造業のエネルギー課題解決のため工場エネルギー管理システムの基盤構築に向けた研究開発をスタートする。研究開発期間は2023年度から2027年度までを予定している。

工場で利用されるエネルギー管理システムや電力関連のデータ形式や通信規格が共通化されておらず、エネルギー資源情報の受け渡しのインターフェースやルールも未整備なため、企業間の枠を越えたエネルギーの全体最適への障害になっている。

これに対し、オムロンの生産現場におけるエネルギー関連データの可視化と管理に関わるセンシングとデータ解析・制御技術やマネジメントノウハウと、早大の制御システムにおける産業用オープンネットワークを利用したエネルギーシステムの最適化技術を組み合わせ、新たな工場エネルギー管理システムの基盤構築



未来のためのIoTの
METZ CONNECT
We realize ideas
Rinsconnect 株式会社リンスコネクト

に取り組む。オムロンは自社が保有する工場エネルギー管理システムの設計・実証を重ね、早大はさまざまな企業に導入可能な共通モデル化に向けた最適化・仕様の検証を行う。

■キーエンス、「ものづくりの現場トピックス」に新

コラム「未来を見据えたロボット活用
キーエンスは、製造現場の改善や効率化の事例やヒントを掲載する「ものづくりの現場トピックス」に新コラム「未来を見据えたロボット活用自動化された生産ラインの実現」を追加した。

コラムでは、生産ライン自動化のメリット・デメリット、構築の手順などを解説している。

■キーエンス、「コレで丸わかり！工場です使える

Wi-Fi活用サイト」公開
キーエンスは、無線・Wi-Fiの基礎知識からFAでの活用事例まで紹介する「コレで丸わかり！工場です使えるWi-Fi活用サイト」を公開した。無線化するメリットや構築ポイント、Wi-Fi活用事例などを掲載している。

■東芝、東芝グループの技術論文誌「東芝レビュー」

最新号Vol.78を公開
東芝は、東芝グループの先端技術開発や技術成果を紹介する技術論文誌「東芝レビュー」の最新号Vol.78を公開した。

最新号は「価値創造と生活圏満足を共創で実現するサービスデザイン」を特集し、東芝テックによるサービスプラットフォームとしての取り組みを紹介しているほか、プラント設備の電磁ノイズ抑制技術、AIを適用したIIoTサービスの継続的運用を可能にするMLOps基盤などの技術論文、状況変化に応じた動作で多様な物品のピッキングを実現するロボット計画制御技術などのR&D最新情報を掲載している。



■アドバンテック、産業オープンネット展出張レポートを公開

アドバンテックは、7月19日名古屋、7月21日東京で行われた産業オープンネット展の出展レポートを公開した。

リモートI/OやIoTゲートウェイ、産業用スイッチ、ファンレスPC、タッチパネル等を使用した装置状態モニター
のデモや、AMAXコントローラとCODESYSを使用した包装機ソリューションを中心に、産業用ネットワークに関連したさまざまな製品を展示。また「システム活用事例紹介：機器やソフトを手間なく「つなぐ」を実現」と題したセミナーも実施した。

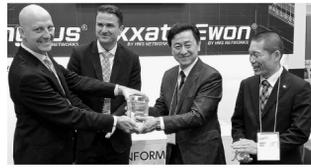


■HMSインダストリアルネットワークス、ケース

スタディにアイエイアイのロボットコントローラ採用事例を公開
HMSインダストリアルネットワークスは、同社製品の採用事例等を紹介する「ケーススタディ」に、小型産業用ロボット・電動アクチュエータのアイエイアイのロボットコントローラにAnybus CompactComが採用された事例を公開した。

ロボットコントローラをさまざまなネットワークに接続するためにAnybus組み込み製品を使用し、標

準化されたハードウェア・ソフトウェア・ソフトウェアインターフェースで開発コストを抑え期間を短縮に成功した。



■パトライト、熊本県上益城郡益城町と福岡県朝倉市

から感謝状
パトライトは、自治体の災害からの復興・レジリエンス強化の取り組みに対する寄付を行っており、このほど熊本県上益城郡益城町と福岡県朝倉市から感謝状を授与された。



■ソルトン、製品コラムミニ連載「大電流コネクタその

①」公開
ソルトンは、製品コラム「大電流コネクタその①」を公開した。

コラムテーマは「電源等、大電流接続箇所のコネクタ化を最適化を促すか」とし、電流等の大電流部分は必ずねじ締めが必要という大半の思い込みに対し、大電流コネクタが使えることと、そのメリットなどを紹介している。



■NKE、キャラバンカー運用開始

NKEは、移動展示車(キャラバンカー)の運用を、23年5月から始め、ユーザー企業に向いての訴求を強化している。キャラバンカーは大型トラックではなく、営業担当が運転・運用できる「マツダ・ボンゴ」をベースに制作。台車・AGVなどとメインコンベア間の荷物移動を可能にする「台車モジュール」や、フィルム状ワークの吸着搬送に最適な「バキュームコンベア」など、特殊事例を中心に実機動作を見ることが出来る。



キャラバンカーを活用し、代理店と協力しながら顧客の近くで直接対話できる機会を増やすことで、展示会に足を運ぶ機会が少ない技術者にも同社製品が叶えるソリューションを知ってもらう。2年で800社での展示実施を目標にし、さらなる拡販につなげる。

■内外電機、本社を移転

内外電機は、7月31日に本社を移転した。新住所は千541-0053大阪市中央区本町二丁目5番7号メットライフ本町スクエア6階。移転部署は管理本部(人事部・調達部・経理部・総務部)、経営企画室(経営企画部・法務部)、事業開発本部(事業推進部・企画開発部)。電話番号とFAX番号の変更はない。

■北陽電機、UAM-05LP-T301を使ったAGVへの安全

対策チラシを公開
北陽電機は、測域センサ「UAM-05LP-T301」を使ったAGVへの安全対策チラシを公開した。

UAM-05LP-T301は、AGVの速度によるエリア切替ができるほか、環境認識ができ、マスタ・スレーブ機能で制御も楽に行え、AGVとの衝突事故を未然に防ぐことができる。



■リタール、ブログ記事「サーバーラックの種類と規格

適切な選定ポイント」を公開
リタールは、ブログ記事「サーバーラックの種類と規格-適切な選定ポイント」を公開した。

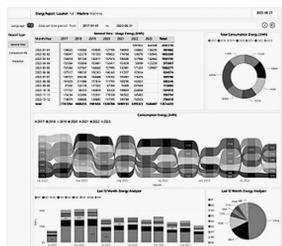
サイズ、熱対策、堅牢性、メンテナンス性などサーバーラックを選ぶ際のポイントのほか、サーバーラックの種類、サーバーラックに関する国際規格などを解説している。



■明電舎、三井住友海上火災保険の駿河台新館でIoT

によるモーターの解析・遠隔監視システムを受注
明電舎は、IoTによるモーターの解析・遠隔監視システムのサブスクリプションサービス販売をスタートし、初の受注案件として三井住友海上火災保険の駿河台新館の冷却水循環ポンプに使われる遠隔監視システムを受注した。

同システムは設備の解析とCO₂・エネルギーマネジメントの両方を組み合わせ、モーター電流・電圧の電気信号、モーターと機械の振動、各種プロセスデータを監視し、設備の健全度を数値化できる。三相の電流・電圧を監視し、正確に消費電力量・CO₂排出量をリアルタイムでモニタリングし、機械効率の良い運転条件をアナウンスし、同条件下で運転した場合の消費電力量・CO₂排出量削減効果をシミュレーションができる。



セミナー・イベント情報

■昭電、9月12日秋葉原UDXでリアル&WEBセミナー

「設計・施工者向け！雷害対策の最新動向」
昭電は、9月12日に東京・秋葉原UDXでセミナー「設計・施工者向け！雷害対策の最新動向」(共催：オーム社「電気と工事」)を開催する。WEBでも同時に配信する。

落雷が日本各地で多発し多くの電気設備に被害をもたらした。落雷の増加は電気、電子機器の雷被害も増加している。セミナーでは「雷害対策の最新動向」をテーマに、設備設計や施工者向けに雷サージ保護対策からクラウド・IoTに連携した情報サービス等を紹介する。参加無料。

停電に強い電源づくり。

災害時での
電源停止を未然に防ぐ。
100年企業のノウハウを
この製品に盛り込んでいます。
2つの電源を安全に切り替える機能が
1台にすべてパッケージされています。



切替器専門メーカー
高田製作所
Since1919

太陽光や発電機を停電時でも安心して活用できます
電源自動切替器 ACMS-A
電源容量が選べます。100A 150A 200A 300A 400A

2系統の電源を停電時に自動で切り替える製品です。
内蔵切替器は大手蓄電池メーカーの
非常用切替に長年採用されています。

詳しくは <https://www.takadass.co.jp/>

すべての仕様書が
<仕様・外形図・回路図>
ホームページから
ダウンロードできます。



tu na ga ru

Powered by
EnOcean
Self-powered IoT

IoT×キャスターが
世界を変える

ツナガルシステム 特設サイトをチェック

キャスターの総合メーカー www.yuei-group.com

株式会社 **ユ-エ-イ**

「ショールームできました!」



IoTシステムを体験できるショールーム
YUEI Technology Center (YTC東京)
詳細はこちら!

雷害対策 重要性高まる

高度情報化で被害は甚大に

夏は冬と並んで雷の発生が多い。パソコンをはじめ、昨今は雷が大きな影響を及ぼす電子機器が増えていることから雷害対策の重要性が高まっている。落雷を受けやすい携帯電話などの通信基地局や電力発電システムなど、高い構造物も増えており、同時に雷が発生しやすい気象現象も目立っている。一方で、落雷を防止し、被害を抑えるための機器開発や対応策も進んでいる。雷被害を最小限に抑える対策には各種の方法があり、使い分けされている。雷発生時の時間、場所の予想など、雷害防止に向けた雷害サービスも充実しつつあり、ハード、ソフトの両面から取り組みが進んでいる。

情報化社会では通信トラブルの発生が無線通信の普及に伴い、携帯電話の通信用の基地局の数が増加している。雷の目撃性を内包している。特にコンクリートや、ともいえる高い構造物の基地局は落雷対策を講じている。雷害対策として、雷害対策の重要性が高まっている。落雷を受けやすい携帯電話などの通信基地局や電力発電システムなど、高い構造物も増えており、同時に雷が発生しやすい気象現象も目立っている。一方で、落雷を防止し、被害を抑えるための機器開発や対応策も進んでいる。雷被害を最小限に抑える対策には各種の方法があり、使い分けされている。雷発生時の時間、場所の予想など、雷害防止に向けた雷害サービスも充実しつつあり、ハード、ソフトの両面から取り組みが進んでいる。



SPDインテリジェント化

関連ソリューション充実

雷害対策は従来、避雷針が中心であったが、近年は電子機器が増大していることから、こうした機器を雷から保護することが主になりつつある。これに伴い、JIS規格でもSPDの評価方法が追加され、雷害対策の重要性が高まっている。雷害対策は従来、避雷針が中心であったが、近年は電子機器が増大していることから、こうした機器を雷から保護することが主になりつつある。これに伴い、JIS規格でもSPDの評価方法が追加され、雷害対策の重要性が高まっている。

雷害対策は従来、避雷針が中心であったが、近年は電子機器が増大していることから、こうした機器を雷から保護することが主になりつつある。これに伴い、JIS規格でもSPDの評価方法が追加され、雷害対策の重要性が高まっている。雷害対策は従来、避雷針が中心であったが、近年は電子機器が増大していることから、こうした機器を雷から保護することが主になりつつある。これに伴い、JIS規格でもSPDの評価方法が追加され、雷害対策の重要性が高まっている。

雷害対策は従来、避雷針が中心であったが、近年は電子機器が増大していることから、こうした機器を雷から保護することが主になりつつある。これに伴い、JIS規格でもSPDの評価方法が追加され、雷害対策の重要性が高まっている。雷害対策は従来、避雷針が中心であったが、近年は電子機器が増大していることから、こうした機器を雷から保護することが主になりつつある。これに伴い、JIS規格でもSPDの評価方法が追加され、雷害対策の重要性が高まっている。

雷害対策は従来、避雷針が中心であったが、近年は電子機器が増大していることから、こうした機器を雷から保護することが主になりつつある。これに伴い、JIS規格でもSPDの評価方法が追加され、雷害対策の重要性が高まっている。雷害対策は従来、避雷針が中心であったが、近年は電子機器が増大していることから、こうした機器を雷から保護することが主になりつつある。これに伴い、JIS規格でもSPDの評価方法が追加され、雷害対策の重要性が高まっている。

雷害対策は従来、避雷針が中心であったが、近年は電子機器が増大していることから、こうした機器を雷から保護することが主になりつつある。これに伴い、JIS規格でもSPDの評価方法が追加され、雷害対策の重要性が高まっている。雷害対策は従来、避雷針が中心であったが、近年は電子機器が増大していることから、こうした機器を雷から保護することが主になりつつある。これに伴い、JIS規格でもSPDの評価方法が追加され、雷害対策の重要性が高まっている。

情報化の進展に比例して雷害対策技術も進歩している。



THUNDER BLOCKER Pro

GOOD DESIGN AWARD



サンダーブロッカーProは、パソコンやネットワーク機器、テレビなどを雷から保護する高性能なSPD(サージ防護デバイス)です。

雷から保護する機器のケーブル(電源、LAN、テレビ)を本製品に接続するだけで、取付配線が完了するため、電気工事の資格を必要とせず誰でも簡単に機器の雷保護ができます。電源とLAN、電源とテレビ、または電源とLANとテレビのように保護対象に応じて、自由に組み合わせてください。



高性能をどこでもだれでも簡単に

www.sdn.co.jp/special/tbp/

株式会社 昭電 本社 〒130-8543 東京都墨田区太平4丁目3番8号 TEL.03(5819)8373 北海道 011(271)6701 東北 022(222)1401 名古屋 052(936)3311 北陸 076(431)2011 大阪 06(6345)3221 中国 082(246)5711 四国 087(821)9231 九州 092(731)0373 沖縄 098(869)0215 ホームページ www.sdn.co.jp

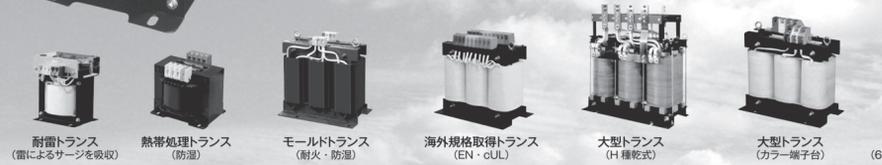
SWALLOW

高性能+安全性と使いやすさを求めて進化する
SWALLOWの各種電源トランス

業界初のねじアップ式端子台を備えたトランスを開発しました。従来品に比べ作業時間を大幅に短縮することができます。

IP2X 対応の、ねじアップ式フィンガープロテクト端子台を搭載!

- 保護等級 IP2X に対応した端子台は、指が端子に接触しない構造になっているため、保護カバー等が不要です。
- 端子ねじは内部のスプリングによって持ち上がった状態で保持するため、ねじの脱落による短絡、紛失を防止します。



サービスコンセント付 電源トランス

GL-series 出力コンセント (AC100V) と照明 (超高精度 LED) 電流保護 (サーキットプロテクト) を内蔵した盤内用トランス。



スワロー電機株式会社

SWALLOW ELECTRIC CO., LTD.
 本社 TEL 06-6719-8100(代) FAX 06-6719-8188
 堺事業所 TEL 072-363-7801(代) FAX 072-368-7807
 東京営業所 TEL 03-3865-9301(代) FAX 03-3865-9355
 名古屋営業所 TEL 052-684-9351 FAX 052-684-9352

ホームページ(<https://www.swallow.co.jp>) から
図面データ(DXF.PDF)がダウンロードできます



フェニックス・コンタクト

電源用クラス I サージ保護機器
「FLT-MB」



横幅を2分の1に小型化

フェニックス・コンタクトは、電源用クラス I サージ保護機器 (SPD) の新製品として、カーボンパルクギャップを採用した FLT-MB をリリースした (近日国内発売予定)。

FLT-MB は日本国内でも高い実績を持つ FLT-SEC シリーズと比較して幅が2分の1のサイズと小型化を達成している。

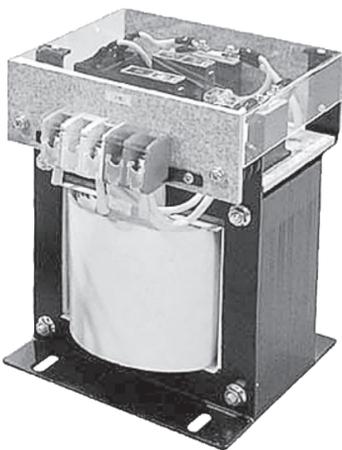
また、直撃雷によるインパルス電流や電圧防護レベルなど過電圧保護の性能は従来製品と同等の仕様を実現している。

さらに、カーボンパルクギャップの最大の特長である連続

<https://www.phoenixcontact.com/online/portal/jp>

スワロー電機

耐雷トランス
「SSCシリーズ」



サージに弱い電子機器保護

スワロー電機は、雷などのサージから機器を守る単相複巻耐雷トランスとして、サージ吸収素子などを搭載した「SSCシリーズ」の販売に注力している。

SSCシリーズは、サージ吸収素子・避雷器・コンデンサ付きのトランスで、雷によって発生するサージを減衰させ、サージに弱い電子機器を安全に保護する。

通信・道路交通システムの電源・マクロローエープ・電光表示盤の電源・セキュリティシステム、ロボットの制御装置など高い信頼性が求められる用途で使える。

また、三相複巻の「SSCシリーズ」は、容量が10、30kVAまで3タイプがあり、特注品にも対応できる。

同社は電源トランスの専門メーカーとして、ユーザーの使いやすい省工数を考慮した製品を販売している。

最近では、電源トランス「C」シリーズとして、出力コンセント (AC100V)、照明 (高精度 LED)、電流保護 (サーキットプロテクト) を一体化した製品を開発している。

<https://www.swallow.co.jp/>

昭電

SPD
「サンダーブロッカーPro」



ケーブル接続で保護完了

昭電のサンダーブロッカーProは、業務用機器からパソコン、テレビなどの各種機器を雷から保護するSPD (サージ保護デバイス) で、3タイプが先備。サンダーブロッカーProを雷から保護する機器のケーブルに接続するだけで取付配線が完了するため、電気工事の資格を必要とせず誰でも簡単に機器の雷対策が可能。

電源コンセント用 SPD 「TBP-2PE」を接続するだけで O Aタップに接続する全ての機器を雷から保護できる。万が一 SPD の性能を超える過大な雷が通過しても SPD が損傷しないように JIS 規定の SPD 分離器を内蔵している。

LAN用 SPD 「TBP-LAN」は、雷の侵入が想定される LAN ケーブルと機器側の LAN ケーブルを本製品に接続するだけで PC、監視カメラ等を雷から安全に保護する。電源コンセント用 SPD 「TBP-2PE」と接続することで、LAN ケーブルだけでなく電源線から侵入する雷からも機器を保護可能。

テレビ用 SPD 「TBP-TV」は、アンテナからのケーブルと機器側のケーブルを本製品に接続するだけでテレビやチューナ、ハードディスク等を雷から安全に保護。電源コンセント用 SPD 「TBP-2PE」と接続することで、アンテナケーブルだけでなく電源線から侵入する雷からも保護可能。

<https://www.sdn.co.jp/special/tbp/>

雷害対策機器 主要各社の製品紹介

タナベコンサルティンググループ

WE ARE BUSINESS DOCTORS

since 1957

ストラテジー & ドメイン / デジタル・DX / HR /
ファイナンス・M&A / ブランディング & マーケティング

製造系研究会開催中!

日本全国の「ファーストコールカンパニー (顧客から一番に選ばれるサステナブル企業)」の先進事例、成功事例を研究。ゲスト企業による実践型講義・現場視察から、現場の「リアルなポイント」を学べます。また、同じ志を持つ多種多様な参加企業・参加者との情報交換も可能です。



TCG TANABE CONSULTING

東京都千代田区丸の内 1-8-2、大阪市淀川区宮原 3-3-41

タナベコンサル



近日発売予定

カーボンパルクギャップ式

電源用クラス I SPD 新製品



- 従来比50%コンパクト
- 直撃雷保護性能 25kA
- 連続した雷サージにも対応

FLT-MBシリーズ

スパークギャップ式SPD 40年の進化を動画公開!

www.phoenixcontact.co.jp

フェニックス・コンタクト株式会社

© PHOENIX CONTACT 2023

東京支店 さいたま支店 東北支店 北陸支店 静岡支店 名古屋支店 大阪支店 京都支店 広島支店 福岡支店
03-6712-3088 048-631-3371 022-226-8890 076-210-4360 054-202-6324 052-589-3810 06-6350-2722 075-325-5990 082-568-1664 092-418-2030

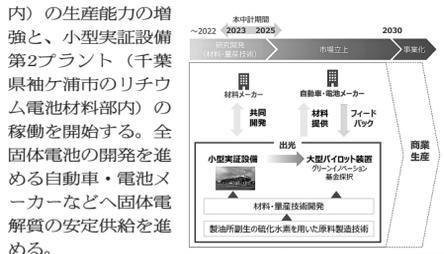
工場新設・増設、設備投資情報

オートメーション新聞WEB URL付き記事はこちらから→https://www.automation-news.jp/category/factory/

国内

■出光興産、千葉県で全固体電池向け固体電解質の供給能力を増強

出光興産は、全固体リチウムイオン二次電池(全固体電池)の普及・拡大に向け、固体電解質の小型実証設備第1プラント(千葉県市原市の千葉事業所内)の生産能力の増強と、小型実証設備第2プラント(千葉県袖ヶ浦市のリチウム電池材料部内)の稼働を開始する。全固体電池の開発を進める自動車・電池メーカーなどへ固体電解質の安定供給を進める。



全固体電池は次世代型の電池の本命とされ、主に電気自動車(EV)の航続距離拡大・充電時間の短縮・安全性向上が期待されている。自動車・電池メーカー等が開発を加速させており、材料ニーズも高まっている。

それに対し同社は、全固体電池とそれを搭載したEVの実用化に向けて必要不可欠な固体電解質の性能の向上と量産技術の開発を加速。小型実証設備(第1プラント、第2プラント)で製造したサンプルを活用して開発を推進し、適切な材料仕様を迅速に製造。また小型実証設備での実証を足掛かりに大型パイロット装置での量産技術の確立とその先の事業化へつなげていく。

■グッドスピード、愛知県春日井市に全塗装専門工場が稼働

グッドスピードは、愛知県春日井市東野町に「グッドスピード春日井全塗装専門工場」をオープンした。同工場ではSUVだけでなくオールジャンルに対応し、カスタムカーへの対応も塗装の作業効率の向上によって全塗装完了までの時間短縮や全塗装サービスの安定提供が可能となる。

■環境のミカタ、静岡県焼津市に廃棄物収集運搬拠点を建設

静岡県を中心に廃棄物収集運搬・処分事業、リサイクル事業、行政受託事業(環境コーディネート事業)を展開する環境のミカタは、現在3カ所に分散している廃棄物収集運搬拠点を集約化するため、静岡県焼津市市右衛門字六軒屋2617-1に新たな事業所を建設する。建屋の床面積は731平方メートル。車庫施工床面積は320平方メートル。取得金額は約3億4000万円。2023年7月に着工し、完成は2024年3月予定。

Fukunishi logo and text: 人・技術・情報の架け橋となり、最適解で「福」あふれる未来をつくる。 福西電機株式会社

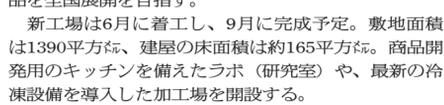
■リバー、栃木県下都賀郡壬生町にシュレッダーダストの回収・選別の壬生事業所を開設

リバーは、栃木県下都賀郡壬生町壬生乙に、シュレッダーダストの回収・選別拠点となる「壬生事業所(仮称)」を開設する。同社は、栃木県下都賀郡壬生町に所有する約1万1000平方メートルの土地を利用し、建屋と選別ラインを開設する。北関東にあるグループ拠点から、これまでは焼却・埋立処分されていたシュレッダーダストを回収し、未利用だった金属やプラスチックなどを選別して効率的で安定的な再資源化を目指す。シュレッダーダストの予定取扱量は年間4万8000トン。

また建屋には太陽光発電システムを設置するほか、集荷したシュレッダーダストから全量の50%程度を有価物として回収し、RPFを製造・供給することでCO2削減を見込む。投資額は43億円。操業開始予定2025年8月。

■イミュー、北海道白糠町に極寒ブリを使った商品開発のための水産加工工場を建設

全国で地場産品の開発事業や、ふるさと納税支援事業を行うイミューは、北海道白糠郡白糠町底路に水産加工工場を建設し、同町で水揚げされる「極寒ブリ」を使った商品開発を行い、地場の産品を全国展開を目指す。新工場は6月に着工し、9月に完成予定。敷地面積は1390平方メートル、建屋の床面積は約165平方メートル。商品開発用のキッチンを備えたラボ(研究室)や、最新の冷凍設備を導入した加工工場を開設する。



■三菱電機、愛知県尾張旭地区に第二生産棟を建設

三菱電機は、FA制御システム製品の生産体制強化に向け、建設を進めている名古屋製作所の尾張旭地区(愛知県尾張旭市)の新生産棟(第一生産棟)に加え、新たに約425億円の追加投資を行い、第二生産棟を建設する。

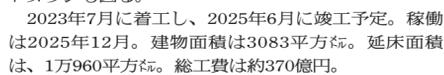


第一生産棟は2025年4月から、第二生産棟は2027年4月から順次稼働を予定。鉄筋コンクリート造の地上5階建て、建築面積は約6000平方メートル。延床面積は約3万平方メートル。

■浜松ホトニクス、光半導体の生産能力強化に向け本社工場に半導体製造の前工程の新棟を建設

浜松ホトニクスは、光半導体製品の需要拡大に対応するため、本社工場(浜松市東区市野町)に光半導体製造(前工程)を担う新棟を建設する。

新棟建設により、生産スペースを従来の約2倍に拡張し、従来の直径6インチシリコンウエハの生産ラインに加え、新棟に直径8インチウエハ対応の製造ラインを採用し、生産の継続性を担保するとともに生産効率の向上やコストダウンも図る。2023年7月に着工し、2025年6月に竣工予定。稼働は2025年12月。建物面積は3083平方メートル。延床面積は、1万960平方メートル。総工費は約370億円。



海外

■極東開発工業、インドのタミル・ナドゥ州チェンナイ市に特装車の新工場建設

極東開発工業のグループ会社であるインド・SATRAC社は、チェンナイ市近郊に新工場建設する。同社主力製品であるダンブトラックやトレーラをはじめとした生産能力の強化による受注の取り込みと販路拡大によるシェアアップ、将来的な製品の輸出展開を目指して新工場の建設を計画している。設備投資は約12億インドルピー(約19億円)。敷地面積は約5万8000平方メートル。2025年度中の工場竣工、生産開始を目指す。

■アイカ工業、ベトナムのグループ会社で化粧板の工場を拡張

アイカ工業のグループ会社であるアイカ・ラミネーツ・ベトナム社は、敷地内に原材料・製品倉庫棟と物流ヤードの工場を拡張する。先行して進めている化粧板製造設備の増設とともに2023年12月まで工事をを行い、2024年1月より稼働する予定。これによりメラミン化粧板の生産能力を2倍に引き上げる。設備投資額は、約13.2億円。

■旭有機材、アメリカ子会社でプレファアプリケーション用加工製品の工場が完成

旭有機材は、アメリカ・マサチューセッツ州にある旭有機材グループ会社のAsahi/America, Inc.でプレファアプリケーション用加工製品の製造能力を増強するための新工場が完成した。

同社は、樹脂配管材料の仕入販売と、アメリカ樹脂配管市場向けにプレファアプリケーション用加工製品の製造・販売を行っており、今後アメリカでは半導体を中心とした国内での生産回帰が見込まれており、プレファアプリケーション用加工製品の加工能力を増強し供給量の増加を目指す。工場面積は5500平方メートル。(5万9000平方フィート)。



■ミクニ、中国子会社の浙江三国で二輪車用製品の第二生産棟が完成

ミクニの中国子会社、浙江三国精密機電有限公司は、二輪車用製品等の生産能力拡大のため第二生産棟を建設し稼働開始した。同社は中国における生活機器関連事業の製造販売拠点として2003年に設立。中国の二輪車用製品の製

造拠点の成都三国機械電子有限公司が2024年に解散することに伴い、同社に生産拠点を移転・集約し、効率的な生産体制の構築を目指す。

■荏原製作所、マレーシア子会社の新工場が完成

荏原製作所のグループ会社EBARA PRECISION MACHINERY MALAYSIA SDN.BHD.は、マレーシア・ペナン市の新たな事務所兼工場が完成した。

マレーシアでは、近年、ペナン州を中心に半導体関連など電気・電子部品の分野での新規・拡張投資が活発に行われており、同社は精密・電子カンパニーの拠点として新たに設立され、セールス&サポートを展開していく。敷地面積は3772平方メートル。建物面積は2185平方メートル。投資費用は約9億円(約30万リンギット)。

■王子ホールディングス、インド南部に段ボール新工場建設

王子ホールディングスは、インド南部のアーンドラ・プラデッシュ州に、新たに段ボール工場を建設する。

同社は、インドに4カ所(北部地区2カ所、西部地区1カ所、南部地区1カ所)の段ボール工場があり、今回、需要の拡大が期待される南部地区で5カ所目となる段ボール工場を新設する。新工場は東南アジア・インド・オセアニア地域で37カ所目の段ボール製造拠点となる。敷地面積は約8万平方メートル。段ボール生産能力は月産約900万平方メートル。稼働予定は2024年10月。

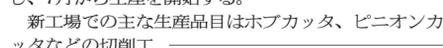
■KOA、マレーシアに厚膜チップ抵抗器の新工場を建設

KOAのマレーシア子会社のKOA DENKO (MALAYSIA)は、マレーシア・マラッカ州内に新工場を建設し、生産性・収益性の更なる向上と安定供給を図る。

敷地面積は、8万3718平方メートル。建屋は生産棟2階建てと事務棟5階建て、延床面積は8万2023平方メートル。2023年10月に着工し、竣工2025年3月に竣工予定。総投資額は約235億円。

■ニデックマシンツール、インドで切削工具の新工場が稼働

ニデックマシンツールのインドでの切削工具の製造・販売会社Nidec India Precision Tools Ltd.は、インドタミル・ナドゥ州ラネベットに新工場を建設し、7月から生産を開始する。新工場での主な生産品目はホブカッタ、ピニオンカッタなどの切削工具で、これまでの生産能力から1.5倍引き上げる。またリードタイム短縮と生産品種を広げ、幅広いニーズにスピーディに対応できるようにするほか、再研磨やリコートなどのアフターサービスの充実も図る。延べ床面積は2000平方メートル。



Just Products logo and text: 挑戦する盤メーカーをサポートする会社。コスト、生産性、脱炭素。それだけにどまらない、鋼材加工の外注のメリットをお伝えします。株式会社ジャストプロダクツ

工場をいろんな無線でつなぎます

ADVANTECH

Enabling an Intelligent Planet

ECU-1051(LTE/Wi-Fi) ECU-150(LTE/Wi-Fi) ECU-1252(LTE/Wi-Fi/CAN) エッジゲートウェイ



WISE-4220(Wi-Fi 2.4G) WISE-4210(SUB-G) WISE-4471(NB-IoT/LTE-M)

WISE-4610 (LoRaWAN) WISE-4671 (NB-IoT/LTE-M)

WISE-40XX (Wi-Fi 2.4G)

WISE-S100 タワーライトセンサ後付け

WISE-2410(LoRaWAN) WISE-2410X(LoRaWAN) 振動センサ電池駆動型

WISE-2210(SUB-G) WISE-2211(SUB-G) WISE-2200-M(LoRaWAN) CT給電対応/アナログ入力

いろいろ選択可能な入出力を提供

アドバンテック株式会社 https://www.advantech.com/ja-jp/



[東京本社] 〒111-0032 東京都台東区浅草6-16-3

TEL : 03-6802-1021 FAX : 03-6802-1022

[大阪支店] TEL : 06-6267-1887 FAX : 06-6267-1886

[名古屋支店] TEL : 052-291-4860 FAX : 052-291-4861